



# 2006年 年頭のご挨拶

社団法人 川崎北工業会

会 長 廣 嶋 國 史

あけましておめでとうございます。

今年、社団法人設立20周年を迎える節目の年となります。思えば当時、準工業地域と言えども電気と上水道しか整備されていなかった当地で、先人達が昭和40年代はじめに下水道の完備、道路の拡幅及び舗装、防犯灯の設置など、久地・宇奈根地域の環境整備に地域運動からスタートし当会の前身である「宇奈根下水道完備実行委員会」や「道路拡幅上下水道促進連盟」を結成し行政機関に陳情を繰り返し行いました。その後、昭和49年には「久地・宇奈根地区環境整備委員会」に改組し、昭和52年に「久地・宇奈根工業会」として拡大発展しました。当時の先人達の努力の結果、昭和52年から54年にかけて行政機関から下水道の整備や道路の拡幅工事が認められ、その間においては各工場で土地を無償提供し、電柱を各工場敷地内に設置することで現在の4メートルの舗装道路を確保することが出来ました。先人達の当時の苦難を思うと昔日の感がします。この先人達の努力の足跡を、次世代経営者や町の方々へ伝えて行くのも使命かと感じている次第です。町は当時と異なりマンションや建売がドンドン増えて、様相が一変してきています。これらも先人達が残されたこの環境という貴重な財産の数々を町全体が恩恵を受けている証であります。その中において現在、高津区久地に(株)長谷工が建設中のスニーカータウン及び日本経済新聞社印刷工場と溝ノ口駅間にシャトルバス運行実現のため筆をとりました。

平成19年3月に竣工後、このスニーカータウンに855世帯の新しい久地住民が入居される予定です。1世帯平均2.5人と計算しますと約2,200人位の方々に住まわれることとなります。長谷工殿には計画の段階から、バス発着所の場所を設けることを同意して頂いています。地元の久地七町会の方々及び、川崎北工業会会員204社で就労する、約4,300人のうち相当数の方々を利用出来、利便性が格段によりくなります。

平成16年の当工業会の賀詞交歓会の席上、来賓でご来駕いただきました阿部川崎市長に、上記の事をご相談しましたところ、民間で実施するよう、示唆されました。このシャトルバス運行実現により車の渋滞緩和、駅周辺の放置自転車の減少の一助となります。

日本最大手のマンション施工会社、長谷工殿及び久地七町会と川崎北工業会では路線認可を受けるための準備をしています。今後の「まちづくり」のあり方は、そこに生活する住民の事を考慮すべきであります。食の安心、安全と同じに、私達は生活者の安心、安全を最重点に考え何をどうしたら良くなるか、問題が生じたら、どう改善すべきかを常に念頭において行動をすべきであります。

高津区に新しく住まわれる方々で、人によっては終生の住家で良かったと思われる地域にすべきであります。そのことは市民より選ばれた素晴らしい市長のポリシーにあります(市民本位のまちづくり)。何事も歴史から学ぶものは、その長により良くもなり、悪くもなると言われています。

会員企業の皆様方におかれましては健康に留意され、社業の発展と地域住民との「職・住」融和の図られた住みよい町であると共に、この設立20周年の節目が、素晴らしい年になりますようご祈念申し上げます。

# 新年のごあいさつ

「県民本位の県政」を実現

さらなる改革へ挑戦の年

神奈川県知事 松 沢 成 文



明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新たな抱負や願いを胸に新春を迎えられたことと存じます。年頭に当たり、県民の皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年11月、天皇皇后両陛下をお迎えし、横浜みなとみらいで「第25回全国豊かな海づくり大会」を成功裏に開催することができました。「海の再生と魚の食文化の創造」を基本理念として、「消費者の立場から見た海の恵み」や「環境保全の大切さ」などの視点を盛り込み、県民や企業の皆様との協働による神奈川らしい大会とすることができました。会場にお越しいただいた多くの皆様、そして大会の開催に携わられた関係の皆様にも厚くお礼申し上げます。

さて、私は、知事就任以来、県民の皆様が目線に立った「県民本位の県政」を進めていくことを県政運営の基本としてまいりました。そのため、私自身、実際に現場を見て、地域で活動する方々の声を聴くことに努め、「ふれあいミーティング」や「移動知事室」に加えて、昨年は「ウイークリー知事現場訪問」を実施し、県内各地の現場で多くのご意見を伺ってまいりました。そして、こうした貴重なご意見をもとに、県政の改革を進めてきたところです。

おかげさまで、産業活性化の面では、工場・本社や研究所の県内進出・再投資の動きが着実に進んでおります。また、安全・安心なまちづくりでは、犯罪認知件数が減少し、検挙率も大きく改善しているなど、これまでの取組みが具体的な成果として表れつつあります。

また、これまで県民の皆様と議論を重ねてまいりました水源環境の保全・再生に向けた新たな取組みも、平成19年度からスタートさせていただくこととなりました。この取組みは、先人から贈られた神奈川の大切な水資源を良好な状態で次の世代に引き継いでいくため、20年後の将来像を見据えた保全・再生施策を、県民の皆様にご負担いただく安定的な財源をもって、継続的に実施しようとするものです。施策の推進に当たっては、県民会議を設置し、県民の皆様のご意見を反映するとともに、施策展開にも直接参加していただけるような仕組みも整えてまいります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

今年は、県の総合計画「神奈川力構想・プロジェクト 51」、そしてこれまで強力に進めてきた改革の区切りの年となります。これまでの成果を着実なものとし、そして、これをさらに進めて、「県民本位の県政」を実現するよう、しっかりと取り組んでいかなければならないと考えております。そのためには、これからの時代へのニーズに対応できる簡素で効率的な行政システムを構築していかなければなりません。「組織・人事の改革」や「職員の特殊勤務手当・福利厚生事業の見直し」、「県主導第三セクターの抜本的見直し」、そして「入札制度の改革」を進め、さらなる県庁改革を断行してまいります。

県政の基本は現場にあります。今年も、「現地・現場主義」に基づき、県政の実状をしっかりと見据え、県民の皆様のご意見を踏まえながら、さらなる県政の改革に挑戦してまいります。引き続き、皆様方のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2006年 元旦

# 2006年 市長年頭あいさつ



川崎市長 阿部 孝夫

あけましておめでとうございます。

新年を迎え、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げますとともに、今年一年が明るい話題の多い、良い年になりますよう願っております。

私は昨年10月の市長選挙において、再度市民の方々から信託をいただき、引き続き、川崎市長としての重責を担わせていただくことになりました。

二期目の市政運営における第一の柱は、行財政改革の断行です。私の進める改革は、福祉サービスをより充実させるための改革であり、事業手法を効率的なものに改めコストを削減することにより、将来にわたって市民に直接届く福祉サービスを増やすことを主眼としています。今後は、職員の削減や民間への委託化の推進などにより財源を産み出し、子育て支援や救急医療体制の強化など、さまざまな形で改革の成果を市民サービスに還元してまいります。

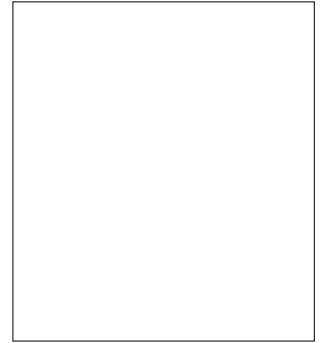
第二の柱は、昨年策定した「新総合計画・川崎再生フロンティアプラン」を着実に推進することです。市民の皆様が、地域で安心して幸せに暮らすことができるよう、プランに基づく具体的な取組を、計画的に実施してまいります。

第三の柱は、自治基本条例に基づく市民本位のまちづくりです。本格的な地方分権時代を迎える中で、地域の課題を解決するための環境を整備し、市民の参加と協働による、誰もが暮らしやすいと感じることのできる地域社会づくりを進めてまいります。

私は、この4年間を通じ、川崎はさまざまなポテンシャルと多彩な地域資源に恵まれていることを改めて実感しています。そうした川崎の持つ強みや魅力を積極的に活かしながら、新たな価値を創造し、それを都市の活力につなげていきたいと考えています。強い信念と熱い情熱を持って、魅力が輝き、活力にあふれる「元気都市かわさき」の実現をめざして、全力を傾注してまいりますので、皆様の御協力をお願いいたします。

# 新年のあいさつ

社団法人 川崎北工業会顧問  
県議会議員 齊 藤 ゆうき



平成18年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

振り返りますと、昨年は、世界的な規模で、地震や台風などによる自然災害が発生し数多くの方が被災をされ、今なお厳しい生活を強いられています。また、国際情勢も不安定で、多くの地域でテロへの不安が払拭できない状況にあるなど、先行きが不透明な状況にあります。

国内に目を転じますと、最近における我が国経済は、株価の回復や雇用関係の指標の改善など、やや明るさがみえてきており、全体として緩やかな回復をしていると言われております。しかしながら、私としては、そうした実感が得られていないというのが率直なところであり、神奈川の経済を支える中小企業の皆様についても、引き続き厳しい経営環境の中で、様々な工夫をしながら事業展開を図っておられることと思います。今後は、景気回復のテンポが上向き、一日も早く、日本経済が自律的な回復をして、多くの皆さんが、こうしたことを実感できるよう切に望むところであります。

私どもを取り巻く環境は、これまでも言われていることですが、少子高齢化、グローバルや高度情報化など、テンポを上げて大きく変化しております。様々な分野で、こうした時代の変化への備えが急がれており、国と地方の関係を見直す、いわゆる「三位一体の変革」も、こうした動きのひとつであり、今後は、地方の自主税源を拡充し、住民により近い自治体において、地域のニーズや特性を捉えた、より有効な施策・事業の展開が期待されるところであります。皆様におかれましても、企業経営をする中で、社会経済環境の変化を身をもって感じておられることと思います。

工業県として発展してきた神奈川では、ものづくりの基盤技術から、付加価値の高い製品を生み出す先端的な技術まで、幅広い技術をもつ産業が集積しています。こうした技術は、人から人へと受け継がれてこそ、次なる発展が目指せるのであり、団塊世代が大量に退職期を迎える、いわゆる「2007年問題」により、こうした技術が次世代にうまく継承できるかが、神奈川県産業の担い手づくりの大きな課題のひとつとなっています。こうした状況は、基礎技術や専門的技術をもつ貴工業界におかれましても同様であると考えております。神奈川が引き続き工業県として発展していくためには、貴工業会の会員の皆様をはじめとする多くの中小企業が元気よく、多方面で活躍してこそ、神奈川経済が輝くのであって、そうでなければ、日本経済全体としても発展が望めないものと考えています。

私は、神奈川県議会議員として、これまで、工業振興についての数々の提案をしてまいりましたが、新たな課題に果敢に取り組むことにより、神奈川の一層の発展に寄与して参りたいと決意を新たにしております。

新春にあたり、社団法人川崎北工業会様の一層のご発展と会員皆様のご多幸をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 平成18年 新年賀詞交歓会開催

平成18年1月26日(木) ホテル ケイエスピー光の間(川崎市高津区坂戸3-2-1)において(社)川崎北工業会の新年賀詞交歓会が開催されました。

当日は行政関係の皆様をはじめ、関係諸団体のご来賓、会員総勢110名の方々が参加されました。大手企業の好決算等で景気の一部回復の基調等、デフレ脱却の年でないかと言われています。我々中小・零細企業にとっては、原油及び素材の高騰等の影響で明暗が分かれ厳しい状態を脱却するには今少しの時間がかかるのと、企業間格差は拡大する傾向にあります。しかし今年こそ景気の力強い回復を願いつつ、皆元気で明るい雰囲気の中、定刻午後5時30分川邊副会長の司会で、平成18年賀詞交歓会が開催されました。

先ず司会の開会の挨拶、続いて主催者を代表して廣嶋会長より年頭のご挨拶として今年法人設立20周年を迎えるにあたり、工場と地域住民との融和を図り、又各企業は創意工夫による技術革新に積極的に取り組んでより良い節目の年となります様に努力しましょうと挨拶がありました。続きましてご来賓のご祝辞を神奈川県知事松沢成文様から、引き続き川崎商工会議所会頭長澤明彦様より、次に県議会議員齋藤ゆうき様からご挨拶を頂きました。続いてご来賓の方々のご紹介(行政関係)をしまして、祝電披露の後、下野毛工業協同組合大脇理事長様ご発声で乾杯を行いまして懇親会に入りました。懇親会では日本コロムビア専属歌手の藤原義則先生の祝歌や、ご参加の方々の飛び入りのカラオケで宴は盛り上がりました。宴たけなわの午後7時25分頃、川崎市市長阿部孝夫様が、ご来駕されまして、ご祝辞を頂き参加者一同宴会は最高潮に達しました。

午後7時45分に赤石澤副会長からご来賓並びに会員の方々に本日のご来駕にたいし感謝の言葉を申し述べ閉会となりました。ご出席の皆様方大変ありがとうございました。本年も宜しく、ご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

分刻みの過密スケジュールで東奔西走の松沢神奈川県知事と阿部川崎市市長には、例年通り当工業会の賀詞交歓会に御出席頂きました。  
広報

神奈川新聞社の資料による

## (社)神奈川県中小企業労務改善集団連合会会長賞受賞

(社)川崎北工業会会員 (有)須田塗工場 代表取締役社長 須田 禮左氏

平成17年11月21日(月)に「活力ある職場づくり推進大会」が「神奈川自治会館」において開催されました。

その席上で、当工業会会員であります(有)須田塗工場 代表取締役社長 須田 禮左氏が(社)神奈川県中小企業労務改善連合会会長賞を受賞されました。同氏は永年に亘り、工業会の事業に尽力されました。特に近年は労使近代化事業・労務改善講習会・労働問題講習会等の企画、運営を積極的に行いその活動に対する表彰であります。

(社)神奈川県中小企業労務改善集団連合会は県下の中小企業122集団で約4万2千事業所従業員は約53万人を擁する連合会であります。年間事業として中小企業の労務改善、福利厚生、各種研修会、リフレッシュ休暇普及促進、労働情報提供サービス事業等の委託事業等にも取り組んでいます。

須田氏の受賞は、日頃の活動が高く評価されたものであります。今後、ますますのご活躍を期待いたします。



# 会員会社紹介(第18回)

会社名 久下精機株式会社

本社 〒213-0031 川崎市高津区宇奈根710-11

TEL 044-844-0107 FAX 044-822-7877

工場 〒213-0032 川崎市高津区久地3-14-41

TEL 044-813-0871

設立 1950年(昭和25年)

代表取締役社長 久下幸男

SPIRIT...「すべては最上の満足のために」

創立時、精密部品加工から始まり半世紀を迎えることができました。物創りに対する限りない追求心と作り手のこだわり。本来、我々が得意とする繊細な指先を活かし新しく生む技術に日々磨きをかけた“妥協のない物創り”それが弊社の誇りです。

事業内容

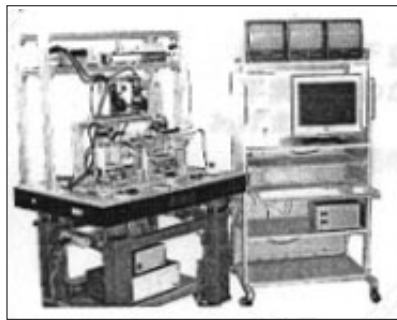
メカ設計・開発・組立・調整、電気回路設計・アートワーク、光学設計・開発、アプリケーションソフト開発、システム装置設計・開発(光通信関連装置)等

弊社は、長年装置を製作してきた経験から、ステージを製作しています。

また、お客様専用の仕様に合わせた追加オーダーソフト製作が可能です。



MTF検査装置



導波路自動調芯装置



プラットホーム マニプレータ

# 第1回 パークボール大会

厚生委員長 牧 繪 茂

平成17年10月8日(土)多摩川河川敷、宇奈根パークボール場において、厚生委員会初めてのパークボール大会を開催いたしました。前日まで雨模様のため、大会の開催が危ぶまれていましたが、雨も上がりなんとかゲームが出来ました。

パークボールがまだなじみのないスポーツなのか工業会としても第1回目という事もあり参加者が少ないようでした。しかし久地や宇奈根のパークボールクラブの方々が大勢参加していただき、大会進行も早く又始めての人にもルールを説明しながらゲームを楽しみ笑い声の絶えない1日でした。ゲーム終了後バーベキュー大会の予定でしたが、雨の心配があった為お弁当と飲み物お土産を用意し配りました。パークボール場の横の芝生で、お弁当を開き飲み物を飲みながら楽しく今日の事を話すことが出来ました。パークボールは身近な所で行えるスポーツなので今後は時期を検討し、大勢の皆さんとバーベキューを囲み楽しみたいと思います。



お知らせ

## 防犯灯の寄贈

この度、社団法人川崎北工業会では平成18年に公益法人認可20周年を迎えるに当たり、その事業の一環として日頃お世話になっています地元、久地第2町会(豊嶋中央直町会長)に防犯灯(水銀灯)を平成17年12月15日に寄贈致しました。夜間町が明るく防犯に少しでも役立てればとのことで、平成17年6月21日の常任理事会にて廣嶋会長の提案で検討され、平成17年8月3日の法人設立20周年記念事業準備委員会で決議されました。



# 「第99回ゴルフコンペ」

社団法人 川崎北工業会

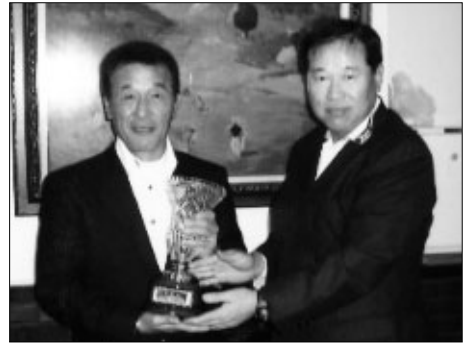
ゴルフ会 会長 原 田 俊 彦

平成17年11月27日(日)川崎国際生田緑地ゴルフ場に於いて、第99回ゴルフコンペが開催されました。

7組28名の参加で8時26分OUT、INに分かれてスタートしました。

秋も深まり銀杏の木が陽にあたり、黄金色に輝き眼の保養の中白球を放つゴルフならではの醍醐味である。

成績の結果は下記のとおりです。



優勝者 白岩次雄氏(左)

優 勝	白岩 次雄(神丘工機株)	NET 73
二 位	浅野 允侑(株キタウラ)	NET 74
三 位	川久保 洋(東海技研株)	NET 75
ベストグロ	白岩 次雄(神丘工機株)	GLOSS 86
ニアピン	浅野、佐々木、菊地、木所、川久保	
ドラコン	坂口、岩井、越智、高橋、木所、関、松沢、堺	

## 俳句

女正月

井田 京子

風向きを確めてより落葉掃く  
身の回り物引き寄せて冬籠る  
菊焚いて菊の最後を見届けり  
年の湯に浸りて過去を手繰りよす  
客間より厨筆やぐ女正月

沈丁花

篠田美代子

獅子舞や大黒柱おどろかす  
梅白し自転車降りて帰りけり  
沈丁花置百畳匂ひけり  
雪卸し済みたる空の蒼さかな  
七日粥部屋いっばいに朝日出づ

武州五句

関根 一雄

葉桜もラストの舞いや花吹雪  
山隠しするほど梅雨の簾かな  
八月も炎暑極むる原爆忌  
妙義みちねぎ売る声の冬近し  
一月ノ凍夜ハ寂ト冬星座

# 訃 報

小峰無線電機株式会社 代表取締役社長 加藤 晴生様のご令室 淑子様  
におかれましては、平成17年10月8日(土)にご逝去されました。  
茲に哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。 合 掌

株式会社 大曾根製作所 代表取締役社長 大曾根 正之様のご母堂 き  
く江様におかれましては、平成17年10月24日(月)にご逝去されました。  
茲に哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。 合 掌

有限会社 東和化学工業 代表取締役 古屋 光克様のご令室 昭子様  
におかれましては、平成17年12月23日(金)にご逝去されました。  
茲に哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。 合 掌

高津設備工業株式会社 会長 山田 和平様におかれましては、平成18年  
1月7日(土)にご逝去されました。  
茲に哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。 合 掌

# 北工業会讃歌

作詞 作曲  
山本 勇 次

一、袖そでに流れる 多摩川の

息吹いぶきを浴びた 技の町

匠たくみの腕かいな 磨みがきゆく

川崎北の 心意気

川崎 川崎北工業会に 誇ほこりあり

二、丹沢山系 眺ながめつつ

集つどいし仲間 技競きそう

未来に希望ゆめを ふくらます

川崎北の たくましさ

川崎 川崎北工業会に 至たから宝あり

三、武蔵野の香かを 残のこしつつ

新たに拓ひらく 技のみち

世代を越こえて 継つぎ渡す

川崎北の 風紀かぜさやか

川崎 川崎北工業会に誠まことあり



# 事務局日誌

(10月)

- 3日 労働保険事務組合加入奨励研修会  
於 かながわ労働プラザ
- 5日 小川税務会計事務所月例監査
- 6~7日 労働保険事務組合連合会中級研修  
於 中小企業センター
- 8日 第1回パークゴルフ 於 川崎市公園緑地宇奈根 厚生委員会24名参加
- 11日 川崎市工業団体連合会総務委員会  
於 産業振興会館
- 12日 短時間労働者雇用管理改善等事業パソコン教室 於 富士通オープンカレッジ
- 13日 労働保険事務組合連合会理事会 於  
ポートサイド万国橋
- 14日 短時間労働者雇用管理改善等事業優良工場視察 於 いわきら・ら・ミュ
- 17日 資金調達相談会 於 工業会3階会議室 国民生活金融公庫川崎支店
- 18日 川崎北公共職業安定所訪問 雇用保険三事業講師派遣依頼
- 19日 短時間労働者雇用管理改善等事業パソコン教室 於 富士通オープンカレッジ
- 〃 中小企業労務改善集団連合会川崎支部 講演会 於 川崎労働センター  
テーマ：「川崎に於ける中小企業の可能性」  
講師：神奈川新聞社 編集次長 三好秀人氏
- 20日 労働保険事務組合連合会担当者研究会 於 ホテル小湧園
- 21日 川崎商工会議所講演会 於 川崎日

航ホテル

- 24日 第3回総務委員会 於 工業会3階会議室
- 〃 第3回常任理事会 於 工業会3階会議室  
議案1.平成17年度上半期収支決算報告の件  
2.短時間労働者雇用管理改善等事業上半期実施報告の件  
3.平成18年新年賀詞交歓会について  
4.その他の案件
- 25日 (協)高津工友会 永年勤続表彰式  
於 高津市民館

(11月)

- 1日 パートバンク訪問
- 〃 神奈川県商工労働部工業振興課訪問
- 〃 (財)21世紀職業財団神奈川事務所訪問
- 2日 短時間労働者雇用管理改善等事業パソコン教室開催  
会場 富士通オープンカレッジ武蔵小杉校
- 4日 会館開放事業 民謡教室 於 工業会3階会館
- 6日 斎藤ゆうき「いも煮会」多摩川河川敷二子橋下流
- 8日 労働保険事務組合連合会拡大役員会 於 中小企業センター
- 9日 短時間労働者雇用管理改善等事業パソコン教室開催  
会場 富士通オープンカレッジ武蔵小杉校
- 10日 小川税務会計事務所 月例監査来会

- 10日 高津工友会 法令研修会 於 ホテルケイエスピー  
 " 会館開放事業 詩吟 岳洲会 於 工業会3階会館
- 11日 秋季集団健康診断 会場 工業会会館及び葵精機駐車場  
 " (仮称)日本動物高度医療センター建設説明会 於 (株)キタウラ  
 " 会館開放事業 民謡教室 於 工業会3階会館
- 12日 カラオケ教室 於 工業会3階会館
- 14日 第2回資金調達相談会 於 工業会会議室 国民生活金融公庫川崎支店
- 15日 第99回ゴルフ大会組合せ 於 工業会3階会議室
- 16日 川崎市工業団体連合会施設見学会 於 東京電力(株)電気の資料館
- 17日 労働保険事務組合連合会代表者研修会 於 箱根ホテル小湧園  
 研究課題1.「労働保険未手続事業の一掃対策について」  
 2.「高年齢者雇用安定法の改正について」  
 講演：「最近のIT情勢と問題点について」  
 講師：NTT東日本ビジネスユーザ事業推進本部  
 工学博士 斎藤典明氏  
 " 会館開放事業 詩吟 岳洲会 於 工業会3階会館
- 18日 事業主研修会 於 ホテルケイエスピー  
 1. 労働保険三事業と関連助成金について  
 講師：川崎北公共職業安定所雇用指導官 久保田佳演氏
2. 労使紛争の防止について  
 講師：川崎北労働基準監督署第1方面主任監督官  
 広田 光彦氏
3. 「時短促進援助事業」改善計画実施結果報告の作成について  
 講師：時短アドバイザー社会保険労務士 坂本 和康氏
4. パートタイマー雇用管理自己診断について  
 説明者：(財)21世紀職業財団神奈川事務所課長  
 石井 信夫氏
- 18日 会館開放事業 民謡教室 於 工業会3階会館
- 21日 (社)神奈川県中小企業労務改善集団連合会  
 「活力ある職場づくり推進大会」於 神奈川自治会館7階  
 1. 表彰式 連合会会長表彰  
 須田 禮左氏  
 2. 講演会 今こそ日本人の誇りと魂を取り戻そう  
 講師：アチーブメント江見義塾 塾長 江見 明夫氏  
 3. 表彰受賞者祝賀会
- 22日 会館開放事業 詩吟師範会 於 工業会3階会館
- 24日 第4回広報委員会 於 工業会3階会議室  
 " 青年部会 於 工業会3階会議室
- 26日 カラオケ教室 於 工業会3階会館
- 27日 第99回ゴルフ大会 於 川崎国際生田緑地ゴルフ場 7組28名参加

29日	労働保険事務組合連合会 機関誌編集委員会 於 中小企業センター	16日	会館開放事業 民謡教室 於 工業会3階会館
(12月)		17日	カラオケ教室 於 工業会3階会館
1日	会館開放事業 詩吟 岳洲会 於 工業会3階会館	26日	第2回理事会 於 溝ノ口 十字屋2階
2日	川崎北公共職業安定所訪問		議案1.平成17年度上半期収支報告について
"	会館開放事業 民謡教室 於 工業会3階会館		2.同上「短時間労働者雇用管理改善等事業」上半期実施報告
5日	資金調達相談会 於 工業会3階会議室 国民生活金融公庫川崎支店		3.平成18年新年賀詞交歓会について
6日	労務改善集団連合会川崎支部幹事会 於 川崎労働センター		4.その他の件
7日	高齢退職準備セミナー実行委員会 於 てくのかわさき	28日	仕事納め(大掃除)
"	福祉振興財団経営セミナー 於 県民共済プラザビル	2006年	
	少子高齢化社会を勝ち抜く企業戦略 講師：(株)シニアコミュニケーション 代表取締役社長 山崎伸治氏	(1月)	
"	(財)21世紀職業財団神奈川事務所訪問	5日	川崎市新年賀詞交歓会 於 産業振興会館
8日	たかつ ものづくりマップ 於 高津区役所	6日	会館開放事業 民謡教室 於 工業会3階会館
9日	小川税務会計事務所月例監査 於 工業会事務局	7日	川崎等々力工業会賀詞交歓会 於 会館とどろき
"	会館開放事業 民謡教室 於 工業会3階会館	8日	斎藤ゆうき議員賀詞交歓会 於 ホテルKSP
10日	カラオケ教室 於 工業会3階会館	10日	(財)21世紀職業財団神奈川事務所、県産業振興部工業振興課年始訪問
12日	労働保険事務組合連合会臨時総会 於 横浜ローズホテル	12日	(社)川崎北法人会賀詞交歓会 於 エポックなかはら
"	長谷工建築現場クレーン転倒事故説明 於 工業会3階会議室	13日	会館開放事業 民謡教室 於 工業会3階会館
15日	会館開放事業 詩吟 岳洲会 於 工業会3階会館	14日	カラオケ教室 於 工業会3階会館
16日	パートタイム雇用管理改善セミナー 於 ワークピア (財)21世紀職業財団	16日	(社)川崎中原工場協会賀詞交歓会 於 エポックなかはら
		17日	役員選考予備委員会 於 工業会3階会議室
		"	第4回総務委員会 於 工業会3階

	会議室		於 中小企業センター
18日	青年部会	於 工業会3階会議室	26日 新年賀詞交歓会
19日	第5回広報委員会	於 工業会3階 会議室	於 ホテルケイエ スピー
"	武道始式	於 高津警察署	28日 カラオケ教室
20日	会館開放事業	民謡教室	於 工業会3階会館
		於 工業 会3階会館	29日 阿部孝夫「新春の集い」
24日	川崎中小企業労務協会賀詞交歓会	於 川崎グランドホテル	於 川崎日 航ホテル
25日	労働保険事務組合機関誌編集委員会		30日 川崎市工業団体連合会新春講演会
			於 産業振興会館
			31日 松沢成文「新春の集い」
			於 新百合 21ホール

## 編集後記

昨年の暮れからお正月を経てなお今現在に至るまで、天災、人災は有史以来とか、過去最大という表現でマスコミを賑わしており、考え方によっては暗い世情といえるかもしれません。

しかし只一つの明るい材料でも、そこにスポットをあてポジティブ志向で進むことこそ今私達には必要なことではないでしょうか。

幸い景気に関する指数は改善の方向を目指しています。当社は今年20周年を迎える記念の年でもあります。この機に景気の先行の明るみを信じて、目指す方向が必ずや、現在問題視されている、ゆがみ、ねじれの是正につながるものと確信している次第です。

物づくりの初心にかえり、前を見つめ、内をかため着実な基本をふまえて行きたいものです。虚業と実業、勝ち組と負け組などはやり言葉に左右されない大事さを感じます。

当機関誌もマンネリからの脱皮をモットーに会員各社の皆様に読んで、ためになる情報内容との評価をいただけるよう、努力する所存です。

20周年記念総会、事業の成功を祈念致します。

編集委員（浅野）

## （絆）第88号

通巻 第122号 機関誌  
 社団法人 川崎北工業会  
 川崎市高津区久地872  
 電話 044-811-6304  
 F A X 044-844-7024  
 E-mail: info@kawasaki-kita.or.jp  
<http://www.kawasaki-kita.or.jp>  
 発行人 廣嶋國史  
 編集 広報委員会  
 印刷所 タカツ印刷